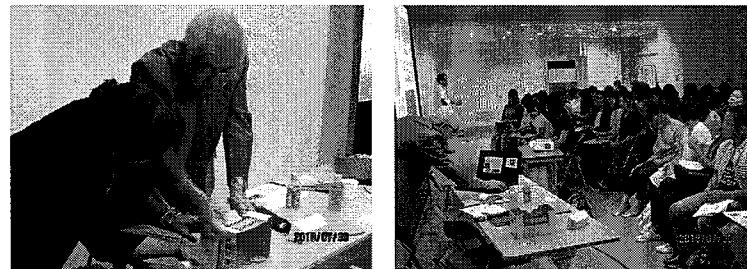
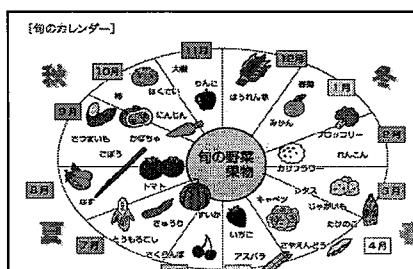
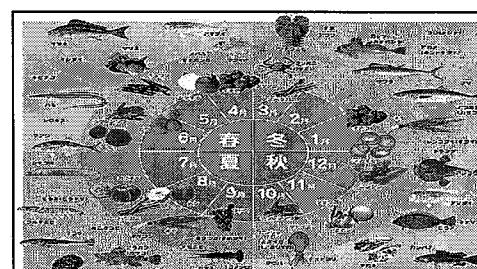


第3次大阪市食育推進計画の取り組み内容等

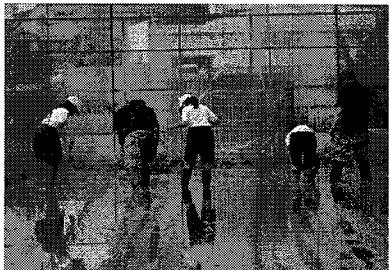
団体名	一般社団法人 大阪市私立保育連盟
団体等の概要 (設立・会員数・目的等)	<p>当連盟は、1956年(昭和31年)に設立され、現在438カ園の認可された保育所(園)・認定こども園・小規模保育事業が加盟しています。【2019年2月1日現在】</p> <p>加盟園は思想・信条の別なく民間保育園の特性を發揮し、次世代を担う子ども達の保育事業に取り組んでいます。また、地域の皆様の要望に応え、子育て支援事業を行っています。</p> <p>市内民間認可保育園(所)の組織として、相互の連携、協調を図りながら、次の事業計画を行い、民間保育園(所)の運営の推進、保育の質的向上を図っております。</p>
取り組み内容 平成30年度 実績	<p>◆子ども安全研修会(食事と栄養①) 大阪市立福島区民センター 1階 ホール 2018年 5月 16日(水) 14時00分～17時00分 講師 三木 絵梨香 氏 (歯科衛生士・摂食嚥下学会認定士) (参加人数 214名) 「口の機能と体の発達」のテーマで、口での摂食は体の機能と連動しており、体の機能を高めることによりさらに摂食機能を高めることができる。また発達に合わせた口の機能の動きを知ることで子どもたちへの援助をする場合に配慮すべきことを学ぶ。</p> <p>.....</p> <p>◆子どもの安全研修会(食事と栄養②) 大阪市立福島区民センター 1階 ホール 2018年 7月 13日(金) 14時00分～17時00分 講師 谷口 信子 氏 (大阪成蹊短期大学教授) (参加人数 218名) 「食べる意欲を育てるための食育」のテーマで、食育推進計画をもとに大阪市の食の現状から保育指針の改訂にともない「10の姿」を食の取り組みとして学ぶことができた。グループワークの中では各園の食育の紹介や和食の大切さも含めて話し合う事ができた。高取保育園のビデオでの紹介があり、興味深い食の取り組みを紹介していただく。</p> <p>.....</p> <p>◆子どもの安全研修会(食事と栄養研修会③) 大阪市立天王寺区民センター 1階 ホール 2018年 10月 25日(木) 14時00分～17時00分 講師 高岡 有理 氏 (大阪はびきの医療センター) (参加人数 201名) アレルギー食対応を必要とする子どもたちが多い現状にあって、食物アレルギー疾患の基本的な知識を丁寧に伝えて頂き、現場でおきうる可能性と対応を具体的に事例をあげて話をされた。エピペンの講習も現場で行動できるよう実践を交えて教えていただく。</p> <p>.....</p> <p>◆子どもの安全研修会(食事と栄養④) 大阪市立浪速区民センター 1階 ホール 2018年 11月 29日(木) 14時00分～17時00分 講師 春木 敏 氏 (甲南女子大学教授) (参加人数 192名) 第三次食育推進計画を踏まえた幼児の食育をテーマに、乳幼児の心身の発育発達ならびに人格形成に大きな影響をもたらす「食」の重要性を確認する中で、健全な食生活実践に向け、「おいしい・楽しい食育」のため、保護者との連携が大切であり、園から保護者への発信が重要である。</p> <p>.....</p>

	<p>◆子どもの安全研修会(食事と栄養⑤)大阪ガス hu+gミュージアム 4階 キッチンスタジオ 2019年 1月 17日(木) 13時30分 ~ 17時00分 講師 谷田 美穂 氏(大阪ガスクッキングスクール講師) / ◆調理実習 (参加人数 97名)</p> <p>① 谷田講師より「乳幼児の食生活」のタイトルで子どもたちの脳の発達や生活習慣について学ぶ。 ② 調理実習として 揚げないやわらか唐揚げ、グリル野菜の焼きびたし、にっこりアニマルおにぎり、プチトマトジャムを作りを行う。実践に生かす学びと機会になった。 ③ スチコンセミナー(アンケートに答える内容で使い方等説明いただく) 実習の中で巻き寿司があり、食文化として若い参加者たちにとって手づくり体験の良い機会となる。自己流での調理が他の人と調理することで見直しにもつながった。又、大量調理で使用するスチームコンベクションを上手く使いこなすコツを知ることで調理の向上に結び付けることができた。</p>
取り組み内容 平成30年度 実績	

第3次大阪市食育推進計画の取り組み内容等

団体名	一般社団法人 大阪市私立幼稚園連合会
団体等の概要 (設立・会員数・目的等)	<p>設立:1969年(昭和44年)11月22日 会員数:連合会加盟園132園(平成30年4月) 目的:幼児教育の振興及び教職員の資質向上を図り、もって私立幼稚園・認定こども園の公共性を高め、市民の幼児教育に寄与すること</p>
取り組み内容 平成30年度 実績	<p>■大阪市私立幼稚園教員等研修事業に位置づけ、本年度は2回、下記の内容で実施</p> <p>1.「食物アレルギーの基礎とエピペンを使った緊急時の対応」[教育・保育理論研修] 講師:末廣 豊 (園田女子大学・教授、大阪府済生会中津病院小児科・免疫アレルギーセンター医師) 平成30年7月30日(月)、8月6日(月) 15:30~17:00 船場センタービル 3号館地下1階 SEMBA10 プレース 参加 72園 122名(2日間合計) 食物によって引き起こされる様々なアレルギーのメカニズムを学ぶと共に、その症状や状態をよく確認し、意識障害や呼吸困難など緊急時への対応を学ぶ。特に効果あるエピペンの使い方を教えていただいた。</p>   <p>■東 地域での「お母さん講座」で、講習会実施</p> <p>2.「食べる力」=「生きる力」を育む! [東 地域 お母さん講座] 講師:名阪食品株式会社 大阪事業部 管理チーム 平成30年11月9日(金) 10:00~11:30 ホテル京阪京橋 参加 45名 (園長、教諭、保護者) 実際、幼稚園に給食を提供し、日々献立等を考えておられる管理栄養士、栄養士、調理師の方々が、どんな点に気を配りながら仕事をしておられるのか、野菜の話、旬の食材、栄養価などをわかりやすくお母さん方に語りかけていただいた。大切なのは、子どもたちに食材に興味を持つてもらえる工夫や旬の食材を活用することで味覚とともに季節も感じながら食を楽しむことで体の成長につながり生きる源となることを伝えてもらった。</p>  

第3次大阪市食育推進計画の取組内容等

団体名	大阪市農業協同組合
団体等の概要 (設立・会員数・目的)	<p>設立は、平成4年4月1日（第2次合併 市内4農協）です。平成30年12月末の組合員数は20,067名（内、正組合員1,074名、准組合員18,993名）となっています。農業者の組織であるとともに、地域に根ざした組織です。相互扶助の精神のもとに、信用・共済・販売・営農指導・教育・文化事業等の事業や活動を行っています。また、環境問題にも農業を通じて積極的に参加しています。</p>
取組内容 平成30年度 実績	<p>■平成30年度取組内容</p> <p>①大阪市立小学校への訪問により総合学習「田植え指導（お米のづくり）」の実施（5月～6月 16校 5年生）。また市内小学校36校に田植え体験用水稲苗を提供。 当事業所の営農促進センター水稻圃場にて小学校が訪問して田植え指導の実施（6月 2校 5年生）</p>  <p>②大阪市立小学校への訪問により総合学習「稻刈り指導（お米づくり）」の実施（10～11月 16校 5年生） 当事業所の営農促進センター水稻圃場にて小学校が訪問して稻刈り指導の実施（10～11月 2校 5年生）</p>  <p>③食農教育教材本「農業とわたしたちのくらし」を市内小学校5年生児童23,594冊を市教育委員会を通じて寄贈。（5月贈呈式実施）</p> 

④市内農家組合員畠及び当事業所の営農促進センターで「収穫体験ツアーワー」を実施。48名の親子が参加し、農家組合員畠で大阪市なにわの伝統野菜の田辺大根の収穫体験と営農促進センターで手作り昼食、サツマイモ堀り・稲刈り体験を実施。(11月48名参加)



⑤当事業所の営農促進センターで職場体験を実施(11月 2校 中学2年13名)。大阪農業についての授業や野菜の種まき等農作業体験を実施。



⑥食育のつどいで伝統野菜を出展(12月中央区役所主催イベント)。市内生産者がつくった大阪市なにわの伝統野菜の田辺大根、天王寺蕪、難波葱、金時人参、大阪しろなを展示、JA職員が参加し、来場者に説明、先着100名に展示した野菜をプレゼントした。



⑦学校給食に使用するなにわの伝統野菜「田辺大根」「金時人参」の収穫及び出荷のお手伝い(12月に田辺大根1、162本を東淀川区・鶴見区・港区・西成区・北区・浪速区・東住吉区・天王寺区へ、1月に金時人参約515kgを淀川区・城東区・此花区・東淀川区・鶴見区・港区・西成区・平野区・東成区へ出荷)



⑧児童を対象に市内産野菜を使ったお弁当作り教室「ベジッ子 Bento！」
(春・夏・秋・冬の年4回実施、各回10名～20名の児童が参加)



⑨男性を対象に市内産野菜を使った料理教室を実施（年4回各回15名～20名参加）



⑩ 市内イベントや区民まつりに参加し、市内産野菜や花きを販売（平野区3ヶ所、東住吉区、住吉区、生野区2ヶ所、東淀川区、北区）



⑪毎月第3水曜日に市内産食材を使った炊き込みご飯を直売所「おいで～菜 平野店」で販売（JA大阪市女性会）



⑫大阪市農業フェアを開催し、市内産野菜・花の販売と来場者に大阪産米「ひのひかり1kg」、市内産花苗、つきたてのもちを先着順で配布。
(11月鶴見緑地、米200名、花苗600名、もち200名)



第3次大阪市食育推進計画の取り組み内容等

団体名	近畿百貨店協会
団体等の概要 (設立・会員数・目的等)	<p>近畿百貨店協会は、日本百貨店協会(設立は昭和23年)の地区百貨店協会のひとつで、百貨店業の健全な発展を図り、国民生活の向上と経済発展に寄与することを目的して活動しています。近畿2府4県エリアを対象に、当協会の会員会社は11社、47店舗になり、そのうち在阪百貨店は7社、20店舗となります。</p>
取り組み内容 平成30年度 実績	<p>日本百貨店協会との事業運営の一体化を基本に、地区百貨店会員店間の積極的な情報交流を図っております。</p> <p>日本百貨店協会では各種専門委員会を常設。食に関しては、食品安全推進委員会を中心に活動しております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 日本百貨店協会の食品安全推進委員会と連携し、当近畿百貨店協会の会員店で構成する品質管理専門部会を定期的に開催しました。 また、食品行政等に係る各種通知、連絡事項の周知徹底を図るなど、情報の共有に努めました。 <p>今年度は、特に食品を含む百貨店販売商品の品質管理、表示をテーマに、専門家による講演会や説明会、セミナー等を当協会主催で開催し、会員店への意識啓蒙活動を行いました。</p> <p>(一例として)</p> <p>講演会:地理的表示(GI)の概要及びGI産品の適切な表示について 2018年9月 講師:農林水産省から</p> <p>セミナー:食品表示法の概要と表示及び加工食品の栄養成分表示について 2019年2月 講師:大阪府健康医療部から</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 日本百貨店協会では、百貨店に来店されるお客様に「食の安全と安心」を提供するために、食品担当者的人材力強化を目的とする「百貨店食品安全アドバイザー検定資格制度」を設けています。 この制度の対象者は、百貨店において食品を扱う売場に勤務する従業員、また百貨店取先企業の方、その他食品アドバイザーをぜひ受けたいとの意欲のある方になります。 今年度も、在阪百貨店からも多数資格を取得されております。

第3次大阪市食育推進計画の取り組み内容等

団体名	大阪府飲食旅館生活衛生組合連合会								
団体等の概要 (設立・会員数・目的等)	<p>大阪府下の飲食や旅館に関する8の生活衛生同業組合から構成されており、構成団体間の緊密なる調整を図るとともに、各組合の目的達成に努め、もって社会の福祉に貢献し、併せて業界の福利増進に資することを目的としています。</p> <p>設立は昭和34年4月15日であり、事務所は原則として会長所属の生活衛生同業組合の事務所内に置いています。</p> <p>構成団体は以下のとおりです。</p> <p>【飲食生活衛生同業組合8団体】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">・大阪府麵類食堂業生活衛生同業組合</td> <td style="width: 50%;">・大阪府喫茶飲食生活衛生同業組合</td> </tr> <tr> <td>・大阪府鮎商生活衛生同業組合</td> <td>・大阪府旅館生活衛生同業組合</td> </tr> <tr> <td>・大阪府中華料理業生活衛生同業組合</td> <td>・大阪府料理業生活衛生同業組合</td> </tr> <tr> <td>・大阪府社交飲食業生活衛生同業組合</td> <td>・大阪府飲食業生活衛生同業組合</td> </tr> </table>	・大阪府麵類食堂業生活衛生同業組合	・大阪府喫茶飲食生活衛生同業組合	・大阪府鮎商生活衛生同業組合	・大阪府旅館生活衛生同業組合	・大阪府中華料理業生活衛生同業組合	・大阪府料理業生活衛生同業組合	・大阪府社交飲食業生活衛生同業組合	・大阪府飲食業生活衛生同業組合
・大阪府麵類食堂業生活衛生同業組合	・大阪府喫茶飲食生活衛生同業組合								
・大阪府鮎商生活衛生同業組合	・大阪府旅館生活衛生同業組合								
・大阪府中華料理業生活衛生同業組合	・大阪府料理業生活衛生同業組合								
・大阪府社交飲食業生活衛生同業組合	・大阪府飲食業生活衛生同業組合								
取り組み内容 平成30年度 実績	<p>■大阪ヘルシー外食推進協議会の「おすすめ！わが店のヘルシーメニュー2018」人気コンテストに参加しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一次審査 <p>平成30年8月31日までに応募のあった50全メニューについて、運営会議委員により、ヘルシ一度（エネルギー量、脂質量、食塩量、野菜総量）など栄養バランスの観点によって書類審査し、50全メニューが選出された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・府民による人気投票 <p>一次審査で選ばれた50メニューについて、平成30年10月10日「イオンモール鶴見緑地 グリーンコート」にて、写真及びメニュー名、ヘルシーポイント、価格、エネルギー等を掲載したパネルを展示し、298名による人気投票が行われた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二次審査 <p>人気投票得票数順位も考慮し、50メニューについて、(一社)大阪府調理師会理事長の尾崎滋氏を審査委員長とし、関係団体代表者の審査委員によって、ヘルシ一度の評価ならびに料理写真とレシピによる評価（独創性、アピールポイント、見映え、地域性など）を総合して入賞10メニューが決定された。</p> <p>■大阪ヘルシー外食推進協議会の「ヘルシー外食フォーラム2018」に参加しました。</p> <p>日 時：平成30年11月14日（水）14:00～16:00</p> <p>会 場：大阪ガス「ハグミュージアム」5階ハグホール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一部 <p>表彰式 「おすすめ！わが店のヘルシーメニュー2018」人気コンテスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第二部 <p>講演・実演 「コーヒーの話とおいしいコーヒーの淹れ方」（試飲）</p> <p>講 師 大阪珈琲商工組合 理事 田代珈琲株式会社 代表取締役 田代 和弘 氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第三部 <p>情報提供 大阪ガス株式会社</p>								

第3次大阪市食育推進計画の取組内容等

団体名	公益社団法人 大阪食品衛生協会
団体等の概要 (設立・会員数・目的等)	<p>飲食等に起因する中毒、感染症及びその他の危害の発生を防止するため、食品関係事業者に対する食品衛生管理の指導や消費者に対する食品衛生知識向上を図るための普及啓発事業等を行っている。</p> <p>昭和 35 年 9 月 設立 昭和 53 年 11 月 社団法人認可 平成 25 年 4 月 公益社団法人認定 会員数：正会員 52 業種団体会員 29 特別会員 129 社</p>
取組内容 平成 30 年度 実績	<p>■食中毒予防街頭キャンペーン 夏季及び冬季における食中毒予防啓発活動として、商店街やターミナル等において、消費者に啓発用グッズを配布するなど食中毒予防を呼びかけました。 7 月 保健所と連携し府内 6 カ所で実施(啓発数:3100) 11 月 保健所と連携し府内 8 カ所で実施(啓発数:5420)</p> <p>■食の安全安心啓発ポスター・標語コンクール 平成 30 年 5 月に食の安全安心にかかる「啓発ポスター」及び「標語」を食品事業者や消費者から募集し、食中毒予防等の意識高揚を図りました。 応募数 ポスターの部:140 点 標語の部:5,341 点 優秀作品(ポスター・標語 各 20)を大阪市役所正面玄関ホールに展示しました。</p> <p>■食品衛生フォーラム 平成 30 年 8 月に大阪ガス㈱ハグミュージアムにおいて食品衛生フォーラムを開催し、食の安全安心にかかる「啓発ポスター」及び「標語」の優秀作品を表彰しました。 記念講演として岐阜大学教授の前澤重禮先生に「変化する卸売市場流通を見据えて、食品事業者のビジネス感覚のあり方を考える」をテーマに講演していただきました。</p> <p>■食品等事業者向け食品衛生講習会 府内自治体と連携し食品衛生事業者に対し、「HACCP の考え方を取り入れた衛生管理」にかかる講習会を開催しました。 平成 30 年 10 月 : 大阪府立大学 I-site なんばにおいて開催(受講者:187 名) 平成 31 年 2 月 : ヴィアーレ大阪において開催(定員:200 名)</p> <p>■ノロウイルス予防対策強化事業 平成 30 年 11 月にノロウイルスによる食中毒の未然防止や市民・消費者の食への不安を解消することを目的として、府内 2 会場において「ノロウイルス講習会」を開催しました。(受講者:317 名)</p> <p>■手洗いマイスター認定講習会 平成 30 年 11 月に食品衛生指導員活動の中で、手洗い指導を行う中核的な人材を養成するため講習会を開催しました。(認定者 18 名)</p>